



NTO EV6kW充電設備用引込分岐盤 KN・BN-EV type




ご採用いただきありがとうございます。施工前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
施工後は、所定欄に施工業者名を記入の上、お客様にお渡しください。この説明書は必ず保管してください。

安全上のご注意






安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

 注意する  必ず守る
 してはいけない

■施工上のご注意







 警告		
	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。	
	施工は活線状態で行わないでください。感電・火災・故障の原因になります。	
	関連法規および内線規程を遵守して、正しい工事を行ってください。正しい工事を行わないと感電・故障の原因になります。	
	施工時、主開閉器およびEV充電設備用漏電ブレーカを必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。	
	誤配線がない正しい配線工事をしてください。発火・感電・故障の原因になります。	
	配線は適切な電線、圧着端子および圧着工具を使用し、必ず絶縁キャップ、絶縁テープなどで絶縁処置を行ってください。発熱・火災・感電・短絡のおそれがあります。	アースせよ

導電部の接続ねじは表1の適正締付トルクで締め付けてください。また、工事終了後に全ての導電部のねじを適正締付トルクで締め付けてください。ねじが緩んでいると発熱・火災のおそれがあります。

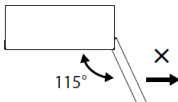
表1. 適正締付トルク

ねじの呼び	締付トルク N・m
M 4	1.2~1.6
M 5	2.0~2.5
M 6	3.0~4.0
M 8	5.5~7.0


接地線はアースバーに確実に接続してください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。

 注意		
	改造などしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。	
	水抜孔は塞がないでください。何らかの原因で盤内に水が浸入した場合、漏電・故障の原因になります。	
	設置環境は下記条件でご使用ください。 故障のおそれがあります。 ・ 周囲温度：-25~+40℃ かつ、24時間の平均値35℃以下。 ・ 標高：1000m以下。 ・ 結露は内部機器に影響がない程度とする。 ・ 周囲の塵埃、煙、腐食性または可燃性の気体・蒸気および塩分による汚染が発生しない場所。 ・ 氷雪によりドアの開閉に影響が出ない場所。 ・ 盤に対して、外部に起因する振動のない場所。 ・ ブレーカの操作が容易にできる場所。	
	キャビネットを壁際に取り付ける際は壁面から15mm以上離してください。ドアが開かなくなります。 	
	キャビネットの設置は十分な強度のある壁面に確実に固定してください。設置に不備があると落下・けが・故障の原因になります。	
	キャビネットへの通線穴加工時、内部に切粉やごみがかからないよう養生などの処置をしてください。切粉やごみがかかると感電・故障の原因になります。	
		穴加工した部分は必ずタッチアップペイント(弊社型番：BP81)などで補整を行ってください。錆が発生するおそれがあります。 水の浸入のおそれのある貫通部には防水処理を行ってください。漏電・故障の原因になります。 盤内機器への電線配線経路に配慮(電線を曲げて水が伝わらないようにする。電線を伝って水が滴下する位置に注意)してください。結露した水や漏水が電線に伝わって盤内機器へ入ると故障の原因になります。 保護板を開く際は、ドアを完全に開いた状態で行ってください。ドアを閉める際は、保護板を完全に閉めた状態で行ってください。破損のおそれがあります。 内器取り付け後は、キャビネットのボデーと鉄製基板の導通を確認してください。漏電が発生した場合、鉄製基板に帯電し感電のおそれがあります。 施工時に取り外した端子カバー、保護カバーなどは必ず元の位置に戻してください。感電・短絡事故のおそれがあります。 線間での絶縁抵抗測定はEV充電設備用漏電ブレーカを外して電線間で行ってください。火災・故障の原因になります。 ドアの下部に輸送時用のブッシュが取り付けられています。設置後は取り外してください。




■使用上のご注意

<div> <div>⚠</div> <div>警告</div> </div>		
<div>⊘</div>	<p>有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。</p>	<div>⚠</div> <p>異常(発熱・臭い・煙など)がありましたら直ちに主開閉器およびEV充電設備用漏電ブレーカを「切」にして、施工業者へ連絡してください。火災のおそれがあります。</p> <p>電気供給者による電気設備の定期調査の際には、調査員に点検依頼をしてください。定期点検をしないと事故の原因になります。</p> <p>ハンドルは確実に閉めてください。けがの原因になります。</p> <p>ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、キー・シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。</p> <p>ドアは必ず施錠し、鍵は関係者以外持ち出せないよう管理してください。感電するおそれがあります。</p>
	<p>保護板は絶対に開けないでください。感電のおそれがあります。</p>	
	<p>ドアを勢いよく閉めないでください。指を挟みけがの原因になります。</p> <p>ドアの開閉角度は約115°です。ドアを開けた状態で右図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。</p> <p>また、強風下ではドアを開けたままの状態にしないでください。蝶番部およびドアの変形・破損の原因になります。</p> 	




⚠ 注意

 主開閉器およびEV充電設備用漏電ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。故障の原因になります。

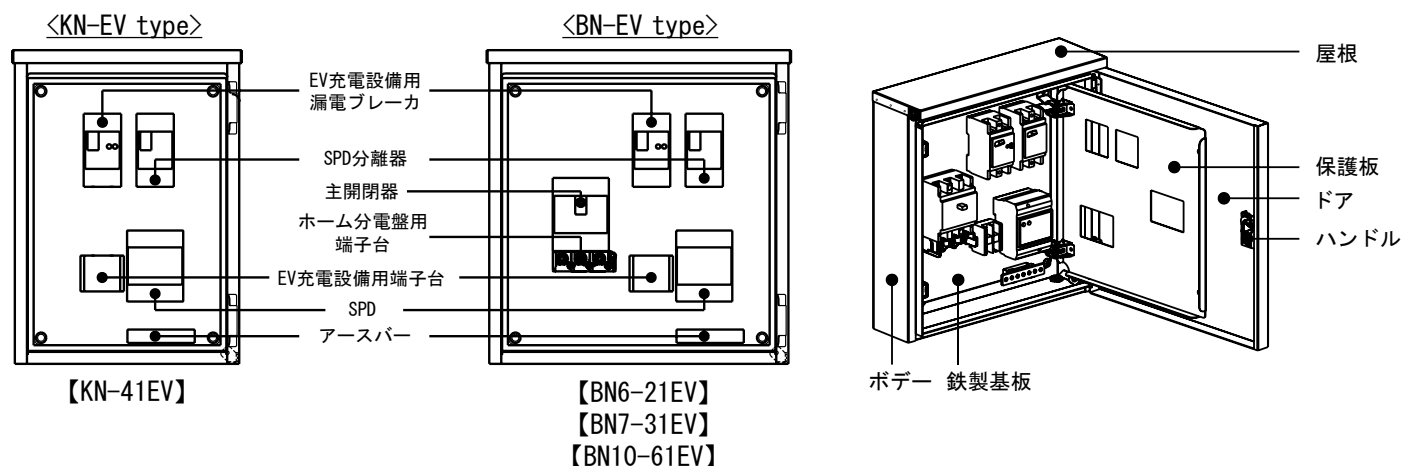
■保守・点検上のご注意

<div> 警告</div>			
<div></div>	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。	<div></div>	定期的にSPDの表示ランプが消灯していないか確認してください。正常にSPDが動作していないと雷サージが侵入した際、EV充電設備の故障の原因になります。SPDの点検方法については、付属の取扱説明書（SPD）を確認してください。
	保守・点検時は主開閉器およびEV充電設備用漏電ブレーカを必ず切ってください。感電・短絡のおそれがあります。		
	保護板を開く際は、ドアを完全に開いた状態で行ってください。ドアを閉める際は、保護板を完全に閉めた状態で行ってください。破損のおそれがあります。		
	EV充電設備用漏電ブレーカの保守・点検時にはテストボタンによる動作確認をしてください。		

⚠ 注意

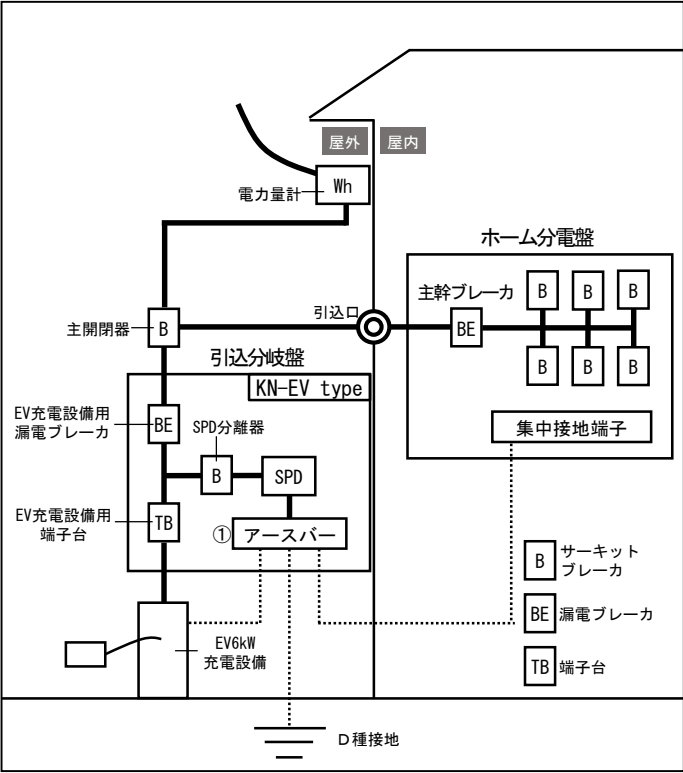
	<p>改造などしたことにより生じた事故については、一切責任を負いません。</p>	 <p>線間での絶縁抵抗測定は、EV充電設備用漏電ブレーカを外して電線間で行ってください。火災・故障の原因になります。</p>
	<p>保守・点検時に取り外した端子カバー、保護カバーなどは必ず元の位置に戻してください。感電・短絡のおそれがあります。</p>	

■各部の名称

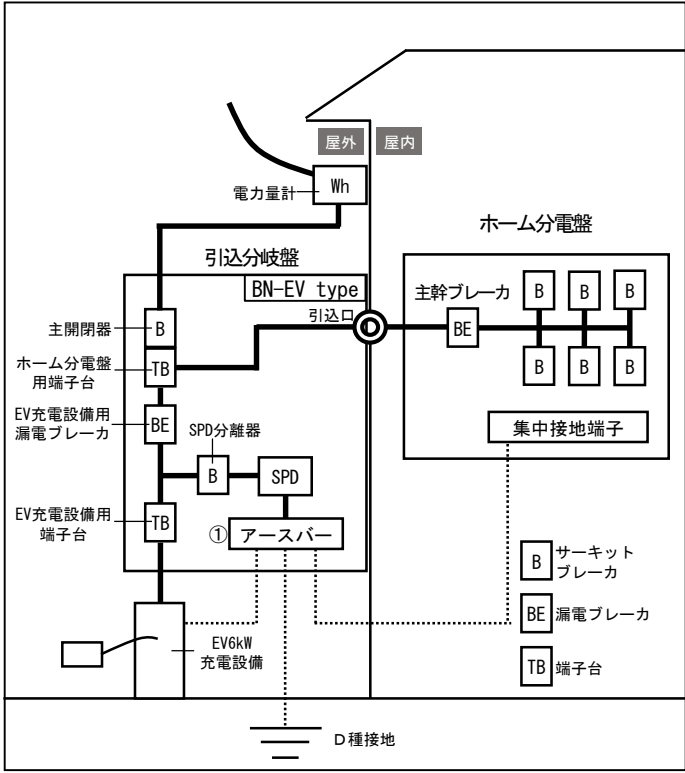


■施工方法

●KN-EV typeの配線図



●BN-EV typeの配線図



①有効な雷保護が可能となるよう、ホーム分電盤、EV充電設備の各接地線を本製品のアースバーに接続してください。

※. ホーム分電盤にSPDが搭載されている場合は、ホーム分電盤側の接地線の配線変更は不要です。

●接続する電線サイズの選定

ブレーカの定格電流ごとの最小接続可能電線サイズは表2となります。

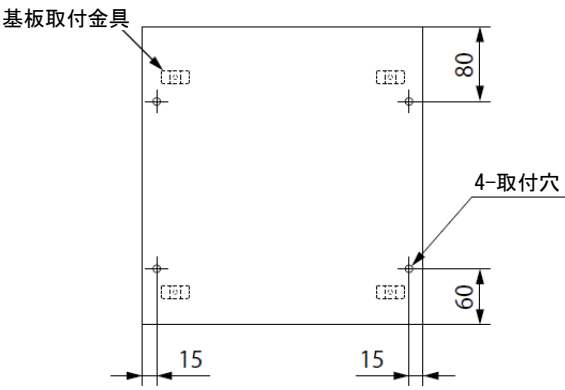
表2. 最小接続可能電線サイズ

ブレーカの定格電流	最小接続可能電線サイズ
40A	8mm ²
50A・60A	14mm ²
75A	22mm ²
100A	38mm ²

●キャビネットの取付穴推奨寸法

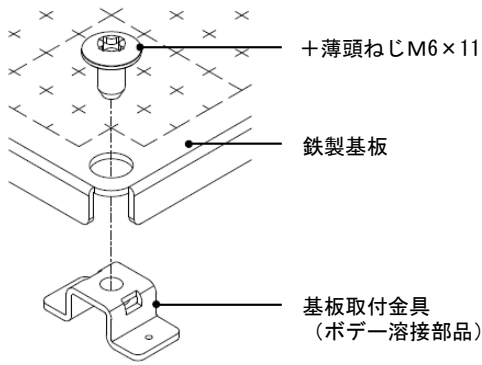
キャビネットを設置する際はボデー背面に穴加工した後に取り付けてください。

ご注意 基板や基板取付金具を避けた位置に穴加工してください。



■基板の取付方法

基板を取り外し、再度取り付ける際には下図のように取り付けてください。



⚠ 注意

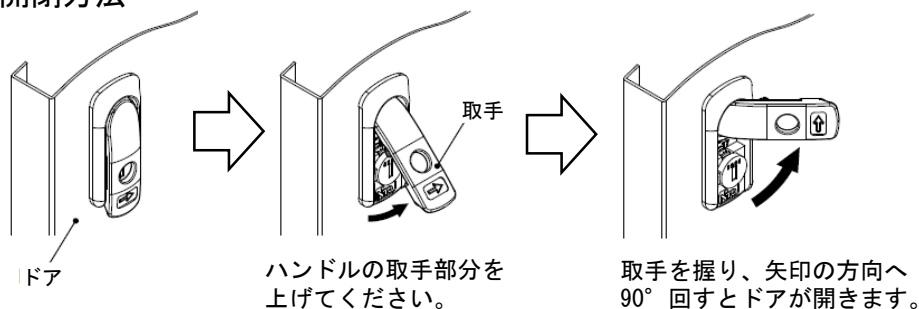
取り付けの際は、表3の適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山が破損する原因になります。

表3. 適正締付トルク

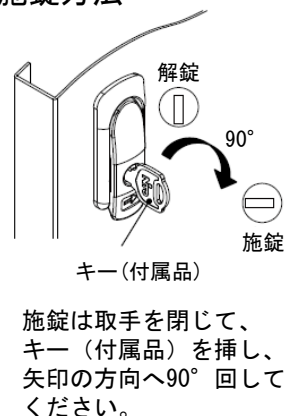
ねじの呼び	締付トルク N・m
M 6	2.9~4.4

■ハンドルの操作方法

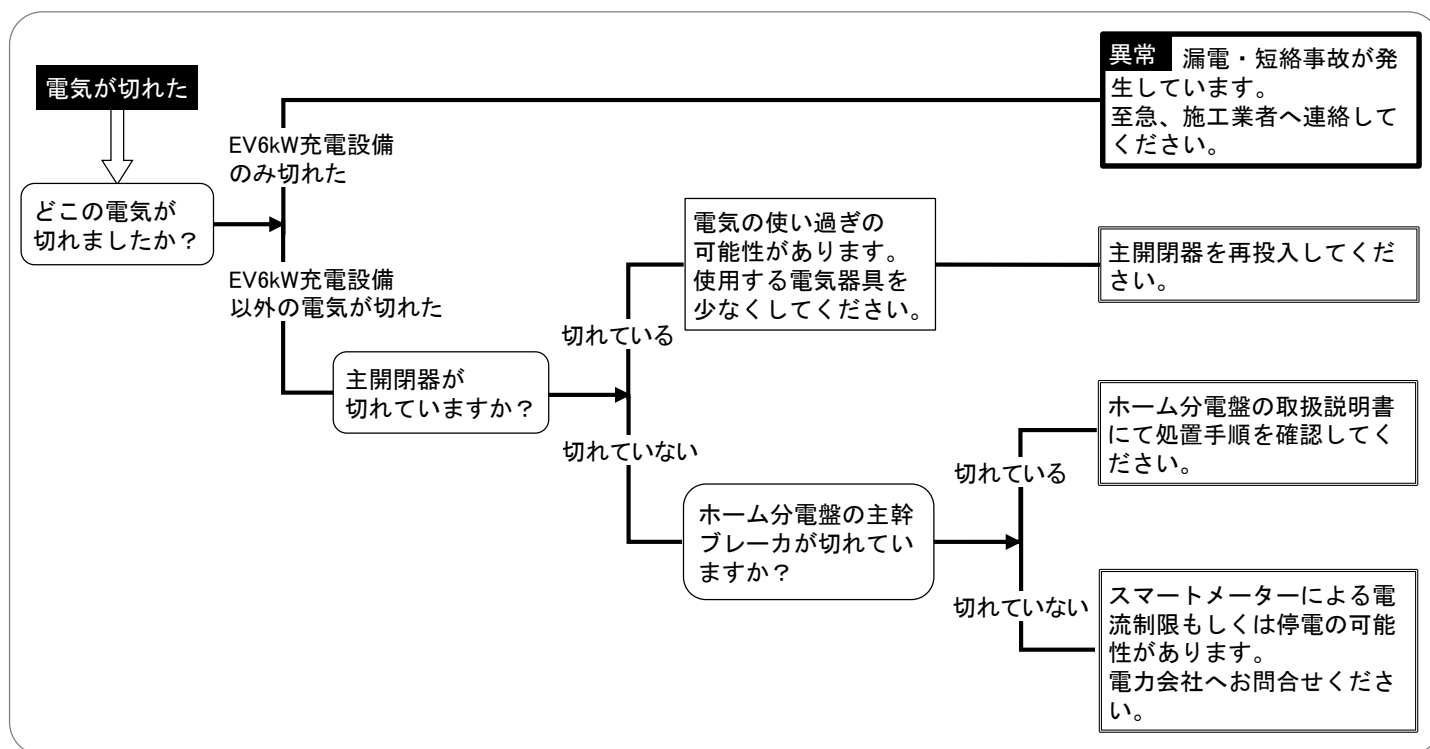
●開閉方法



●施錠方法



■電気が切れたときの処置手順



付属品

キー(No.N200).....1個
 施工説明書/取扱説明書(本紙).....1部
 取扱説明書(SPD).....1部

施工業者名

TEL

施工年月日

年 月 日

お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL(0561)64-0152

〈受付時間〉8:30~12:00、13:00~17:30(土・日・祝日は休み)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2025年9月

B966480002

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地